成田空港「第２の開港」を支える
広域道路ネットワークの早期実現に関する
要　望　書

令和８年１１月１０日

成田空港「第２の開港」を支える
広域道路ネットワークの早期実現に関する要望書

広域道路ネットワークは、成田空港を中心とする、「第２の開港」による効果を広域的に波及させるため、さらなる充実と強化が不可欠であり、これに加えて、国道や県道等のアクセス道路の改善も着実に進め、空港アクセスの抜本的な高速化、多重化に取り組む必要があります。

さらに、空港周辺地域では、国の「戦略産業クラスター計画」において、関東圏で唯一、ＭＲＯ産業をはじめとする航空機産業クラスターの形成が盛り込まれるなど、この地域が産業集積の呼び水となることが期待されています。

昨年１１月には、国、県等で構成する千葉県道路協議会において「新しい成田空港を支える高規格道路ネットワーク構築の基本方針」がとりまとめられ、北千葉道路や新湾岸道路について有料道路事業を活用し最優先で早期整備に取り組むとともに、シームレスなサービスレベルを確保に向け、高規格道路アクセス改善などを提言しました。

６月に開催された千葉県湾岸地域渋滞ボトルネック検討ワーキンググループでは、高規格道路ネットワークの有効活用に向けた対策の検討が開始されるとともに、１１月の同ワーキンググループにおいて、千葉県から有料道路事業の活用による北千葉道路等の整備加速について改めて提案しました。

つきましては、これらの状況を踏まえ、広域道路ネットワークの整備を早期に実現するため、下記の事項について、特段のご配慮を賜りますよう、ここに要望いたします。

＜北千葉道路の整備促進＞

○　都心と成田空港を直結する北千葉道路のうち全線で唯一、一般部の事業化がされていない市川・鎌ケ谷間については、直轄調査を早期に取りまとめ、一日も早い事業化を図ること。さらに専用部について、併せて早期事業化を図ること。

○　成田市区間について、県では最大限前倒しした最速工程により整備を進めており、工事の本格化に伴い、必要となる事業費が集中する時期を迎えることから、開通に必要な予算を満額措置すること。さらに印西市から成田市の４車線化について、「第２の開港」の進展に伴う交通需要の増加に遅れることの無いよう、必要な予算を確実に確保すること。

○　本年４月に国の直轄区間に編入された北千葉道路（市川・松戸）について、早期整備を図ること。

○　北千葉道路は、高いサービスレベルが求められることから、国道１６号以東についても信号なく直結する規格の高い道路として計画見直しを図るとともに、国道４６４号全線の直轄編入を図ること。

＜新湾岸道路の整備促進＞

○　新湾岸道路の計画の具体化を図るにあたり、県・沿線市は、地域の理解が深まるよう、市民とのコミュニケーション活動に協力して、積極的に役割を果たしていくので、有識者委員会における助言等を踏まえ、早期に概略ルートや構造の検討を進めること。

○　湾岸部の都県間についても検討を行い、計画を具体化すること。

○　ルートや構造の検討にあたっては、千葉県三番瀬再生計画との整合性を図るとともに、地域の生活環境に配慮した計画とすること。

＜有料道路事業を活用した新たなネットワーク形成と整備加速＞

○　都心と成田空港を直結する北千葉道路、渋滞が顕著な京葉道路を補完する新湾岸道路について、地域と意識を共有しながら、スピード感を持ち、有料道路事業を活用し、計画的・安定的に予算・財源を確保するなど、最優先でネットワーク形成を図ること。

○　首都圏の料金については平成２８年に整理・統一がされているが、京葉道路等には激変緩和措置が導入されている。

○　今年度の圏央道（大栄～松尾横芝）の開通等により、複数経路が選択できるネットワークが形成される中、料金水準の整理・統一を進めることにより、経路にかかわらず円滑なアクセスを確保することの重要性が示されたが、激変緩和措置の解除に当たっては、物流への影響等を考慮し、急激な負担増に留意し、段階的な移行を図るとともに、その収入を含めた有料道路事業の活用による新たなネットワークの整備促進を図ること。

○　特に、東関東自動車道と京葉道路が並行する区間においては、交通偏在を是正し道路ネットワークの有効活用を図ること。

＜高規格道路アクセスの改善＞

○　渋滞が顕著な県北西部において、交通需要の増加が想定される高規格道路のインターチェンジ周辺の一般道路の渋滞ボトルネックの解消に向け、国道１４号、県道船橋我孫子線、県道船橋行徳線などの対策を講じるため、早期に補助事業等として採択すること。また、県道船橋行徳線と接続する原木インターチェンジ周辺の抜本的な対策についても、国等において支援を行うこと。

○　加えて、現在事業中の国道３５７号の渋滞対策の推進及び（仮称）検見川・真砂スマートインターチェンジ事業の促進や国道２９６号、成田松尾線、都市計画道路磯辺茂呂町線、都市計画道路美浜長作町線、都市計画道路東習志野実籾線、都市計画道路菊田台谷津線などのインターチェンジへのアクセス道路についても着実に整備できるよう必要な予算の確保を図ること。

＜圏央道・アクアライン軸の強化＞

○　成田空港と羽田空港を結ぶ新たな軸となる圏央道・アクアライン軸を強化するため、圏央道の４車線化、アクアラインの６車線化や、これらと併せて、両空港間の航空貨物輸送を担う自動物流道路の実装など、機能強化に向けた検討を進めること。

＜道路規格にあったパフォーマンスの実現＞

○　京葉道路などの高規格道路の規制速度について、道路規格にあったパフォーマンスを実現するため、関係者間で取組を加速すること。

要望者一覧

千葉県知事　　熊　谷　俊　人

一般国道４６４号北千葉道路建設促進期成同盟会

市川市長	田　中　　甲
船橋市長	松　戸　　徹
松戸市長	松　戸　隆　政
成田市長	小　泉　一　成
鎌ケ谷市長	芝　田　裕　美
白井市長	笠　井　喜久雄
印西市長	藤　代　健　吾
船橋商工会議所　会頭	篠　田　好　造
市川商工会議所　会頭	村　岡　　実
松戸商工会議所　会頭	待　山　克　典
成田商工会議所　会頭	諸　岡　市郎左衛門
鎌ケ谷市商工会　会長	井　手　勝　則
白井市商工会　会長	平　川　昌　宏
印西市商工会　会長	坂　巻　栄　一

新湾岸道路整備促進期成同盟会

千葉市長	神　谷　俊　一
市川市長	田　中　　甲
船橋市長	松　戸　　徹
習志野市長	宮　本　泰　介
市原市長	小　出　譲　治
浦安市長	内　田　悦　嗣